

平成27年7月31日

県政運営評価戦略会議

会長 石田和之 殿

徳島県総合計画審議会

会長 近藤光男

「いけるよ！徳島・行動計画」の評価結果及び「県民からの  
優れた意見・提言」を踏まえた対応について（通知）

平成26年11月19日付けで御提言いただきました「いけるよ！徳島・行動計画」  
の評価結果及び「県民からの優れた意見・提言」につきましては、その趣旨を踏まえ、現  
行事業の改善資料とさせていただくとともに、平成27年度からの新たな総合計画「新  
未来『創造』とくしま行動計画」の策定に向け、積極的に活用いたしました。

## 評価結果等への対応

<新たな総合計画策定時における主な反映状況>

### 「評価結果」への対応

#### 1. 戦略会議の総括意見への対応

##### 1) 意見

特に、3年連続C評価及びD評価とされた7事業について、取組内容、課題把握、今後の取組方針など事業全般を通じ、しっかりと見直しを。  
また、今回の評価結果を新たな総合計画の策定につなげ、一層進化した内容に。

##### 2) 評価状況と反映状況

(上記7事業 事業番号6、19、315、589、722、723、724)

- ①6 年間の延べ宿泊者数  
C評価 目標②120万人→②⑥148万人 実績②⑤は143万人と目標を下回る  
新計画 ○年間の延べ宿泊者数  
P205 ②⑤226万人→③⑩300万人  
取組 (「徳島県観光振興基本計画(第2期)」に基づくビジネス目的客の取り込み、東京オリンピック・パラリンピック等を見据えた観光誘客の促進)
- ②19 都市公園・緑地について必要性や実現性を再検証し、関係市町と協働した見直し  
C評価 見直し推進事業であるが、「見直し方針」がまだ策定されていない  
新計画 ○徳島東部及び南部圏域の都市計画区域マスタープランの策定  
p72 ②⑤基礎調査着手→②⑨策定  
○都市公園における官民協働による花壇区画の設置数  
p152 ②⑤→③⑩8区画  
取組 (都市計画区域において、プラン見直し等により防災・減災対策を土台に据え、安全で快適に暮らせる効率的な都市形成を推進)
- ③315 耐震診断や改修にかかる補助金交付要綱策定市町村数  
D評価 目標②15市町村→②⑥24市町村 実績②⑤は10市町村と大きく下回っている  
新計画 ○耐震診断義務付け建築物のある全ての市町村での補助制度創設  
p127 ②⑤10市町→③⑩15市町  
取組 (耐震改修促進法の改正を受け、まずは、特定の民間建築物が存在する市町村を対象に要綱の策定を働きかけ補助制度を創設していく。)
- ④589 肥満傾向児の出現率  
D評価 小・中・高の全年齢で全国平均以下にするという目標が達成困難  
新計画 ○肥満傾向の児童生徒数(小中学校)  
p178 ②⑤5,437人→③⑩H25年度比8%減  
取組 (県医師会や大学等との協議、専門医による保護者を含めた地域研修、特に、子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図り、肥満予防・肥満対策、生活習慣予防対策を推進)
- ⑤722 県職員の職務執行の公正さ  
C評価 依然として職員の不祥事が発生  
新計画 ○職員の倫理意識の向上及び服務規律の徹底  
p97 ②⑦推進  
取組 (第三者機関によるチェック体制のもと、研修、啓発、「風通しの良い職場環境づくり」による倫理意識の向上及び服務規律の徹底)
- ⑥723 職員一人ひとりに対して倫理意識を徹底  
以下、722と同

⑦724 不祥事やうっかりミスを防止することができる組織づくり  
以下、722と同

**2. 基本目標ごとの意見・提言への対応**

基本目標1「にぎわい・感動とくしま」

- 意見1) ・全国レベルでの徳島県のブランド力を調査するなど施策の効果を検証し推進することが重要
- 新計画対応) p101  
・「体制づくり」、「市場調査」、「商品開発」「ブランド化推進」、「販路拡大・販売促進」を5つの柱とした「とくしま県産品振興戦略（第2期）」に基づき売り上げ向上
- 意見2) ・県民が身近にスポーツを楽しめる施策を一層推進して欲しい。
- 新計画対応) p215  
・南部健康運動公園の整備 ⑳陸上競技場の着工  
・総合型地域スポーツクラブの会員数 ㉕8,640人→㉟12,000人  
・誰もが楽しめるスポーツイベント等助成数 ㉕26件→㉟20件以上

基本目標2「経済・新成長とくしま」

- 意見1) ・優れた経営感覚を備えた農業人材の育成に向けて、引き続き頑張っ  
て欲しい。
- 新計画対応) p108  
・生産コストの低減や高品質化・ブランド化への取組みなど、足腰の強い経営体への転換に取り組む畜産農家を支援
- 意見2) ・林業について、今後も新たな担い手の確保等に向けた取組を進めて  
欲しい。
- 新計画対応) p112  
・県立高校「林業関係学科」の設置 ㉘設置  
・とくしま林業アカデミー（仮称）の開講 ㉘開講  
・林業プロフェッショナル数（ステップアップ方式で体系的に育成）  
㉕214人→㉟330人

基本目標3「安全安心・実感とくしま」

- 意見1) ・防災対策について、ハード面は比較的順調に進んでいるが、住民や  
市町村を巻き込んだソフト事業で遅れているものがある。  
ハードとソフトを一体的に展開して欲しい。
- 新計画対応) p119、p123  
・市町村が実施する自主防災組織の結成促進と活動活性化支援、避難  
所運営リーダーの養成、防災出前講座など地域防災力の強化促進  
・防災や危機事象対応をより分かりやすく伝え、県民の意識向上を図  
るため徳島防災ポータルサイト「安心とくしま」を充実・強化

基本目標4「環境首都・先進とくしま」

- 意見1) ・希少野生生物やその保護活動等に関する知識の習得機会を増やすこ  
と等により、生物多様性に関する県民意識の一層の醸成に取り組ん  
で欲しい。
- 新計画対応) p149  
・「とくしま環境学講座」受講者数 ㉕→㉟年間50人  
・「親子環境学習教室」参加者数 ㉕→㉟200人

基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」

- 意見1) ・高齢者間の経済格差の拡大が見込まれる中、経済的な理由から働く  
必要のある高齢者に対し、今後、何らかのバックアップやセーフテ  
ィーネットの構築などの取組が必要ではないか。
- 新計画対応) p80  
・地域における生活保護受給者等の生活困窮者の自立を促進するた  
め、福祉事務所とハローワークが一体となって就労支援を推進  
（ただし、年金問題や経済支援については、多額の財政負担を伴う

長期的な課題でもあり、引き続きその解決策について検討)

- 意見 2) ・高齢者が生きがいの観点から、地域で子育てをサポートできるような取組も有効ではないか。
- 新計画対応) p89  
・人生経験の豊かな高齢者が子育て支援に参加することで、子どもやその親と世代間の交流が促進され、地域の子育て力が強化  
シニア団体が行う子育て支援活動数 ②5 → ②7～③0年間 100回

#### 基本目標 6 「まなびの邦・育みとくしま」

- 意見 1) ・過疎地域の小中学校において、クラス削減や閉校が進んでいる。教育の地域間格差が生じないよう、ICTを積極的に活用するなど効果的な対策を講じて欲しい。
- 新計画対応) p189  
・テレビ会議システムの利用回数 ②5 514回 → ②7～③0年間 550回  
・高校での双方向遠隔授業・講座の実施回数 ②5 → ③0 20回  
・ICTを活用した授業実践の研修参加者数 ②5 377人 → ②7～③0年間 400人
- 意見 2) ・中高生の間でスマートフォンのSNSを利用した「ネットいじめ」が深刻化してきており、こうしたいじめに対してもしっかりと対応する必要がある。
- 新計画対応) p201  
・地域における子ども・若者の支援者として「ユースサポーター」を養成し、ネットパトロール活動、フィルタリング利用促進活動による有害環境の浄化及び問題を抱えた子ども・若者への相談・支援活動を行います。

#### 基本目標 7 「宝の島・創造とくしま」

- 意見 1) ・人口減少対策の1つである、県外からの移住の促進については、少しずつ成果が現れており、今後一層の展開を期待したい。
- 新計画対応) p76  
・移住交流の支援体制を強化するため、移住情報をタイムリーに発信する「移住ポータルサイト」の開設や移住相談やしごとの提供を一元的に行う「移住コンシェルジュ」を配置した「とくしま移住交流促進センター」を設置します。  
・「二地域居住」を促進するため、本県の魅力を積極的に発信するとともに、お試し居住施設や生活体験施設などを整備する市町村を支援します。

### 3. その他にかかる主な対応

次のような意見が出されたので、新たな総合計画の策定等にあたって、検討をお願いしたい。

(特に、行動計画編策定着手時及び部局ヒアリング時に、取りまとめ部署から各事業所掌部局へ指導)

- 意見 1) ・社会情勢等に大きな変化があり、目標自体が現状に合わなくなった場合、柔軟な目標の変更、また、新たな目標の設定が必要では。
- 新計画対応) p218  
・計画策定以降の「急激な環境変化」や「新たな課題」に対しても、常に「進化する計画」として、大きく修正や追加すべき必要な点は、見直しの中で新たに盛り込み、「実効性のある計画」として県民ニーズに即応していきます。
- 意見 2) ・見直し後の数値目標をもとに評価できるのは2年後になってしまう。次年度の戦略会議の評価の際には、見直し後の数値目標で評価ができるよう、工夫する必要がある。
- 新計画対応) ・提言が11月にされ、それを受け、12月に総計審「宝の島・とくしま創造部会」、2月に総計審を開催し、それらの意見を反映させたものを

パブリックコメント、議決条例により2月議会にかけられ、成案となって初めて、見直し案が正式に総合計画に反映されるものであり、その後翌年度から見直し後の計画に基づいた事業推進がおこなわれ、一年後、実績が出てからの評価となるため、（各々のパートによる意思決定を踏む必要性から）1年半後から2年かかるのは必然。

- 意見3～7) ・主要事業の中には、単に、「促進」、「推進」とだけの記載もあり、数値目標の設定など到達点を明確にする必要。  
 ・「成果指標」と「活動指標」のうち、できるだけ「成果指標」の設定を。  
 ・評価年度に結果が不確定の数値目標については、別の指標の検討が必要。  
 ・単年度ごとの目標設定が可能な数値目標については、「累計」表記ではなく単年度表記を。  
 ・数値目標以外にも、全国平均や全国順位データがあるものは「主要事業等評価シート」の中で示して欲しい。

新計画対応)

- ・各事業について、できるだけ成果指標でその取組みを見せられるよう検討するとともに、分かりやすい取組指標などで表記するよう心掛けた。また、累計表記についても、単年度の方が分かりやすいものについては、可能なかぎり改めることとした。  
 結果として施策数、750→648、数値目標、843→960と真に必要な施策に絞り込むとともに、成果をより詳細に示せられるよう、数値目標を増やすこととした。

#### 「県民からの優れた意見・提言の採択について」への対応

「とくしま目安箱」、「わくわくトーク」、「知事・市町村長会議」で出された意見の中から採択した12件について、できる限りその趣旨を施策等に反映していただきたい。

#### <以下、主な意見とその反映状況>

- 意見1) ・「東京オリンピック」開催決定の際に「おもてなし」が話題になったが、徳島（四国）の財産である「お遍路さんへのお接待」を「おもてなし」として発信し、五輪に役立てることはできないか。

新計画対応)

- p207  
 ・きめ細かな観光情報の提供や案内、県民との交流など、心のこもったおもてなしの接遇により、本県を訪れる観光客にとって、安心快適に徳島旅行を楽しんでいただき、リピーター来県にも繋がるよう、県内全体のおもてなしマインドの向上を図ります。

- 意見2) ・ニュージーランドのクイーンズタウンはアクティビティの拠点として、バンジージャンプ、ジェットボード、クルーズ、星空ツアーなどを楽しめる。多くの観光客を呼ぶために、景観保護や安全性確保など課題をクリアし、宿泊施設やアクセスを整備することによって、これらを大步危や祖谷周辺で実施できないか。

新計画対応)

- p204  
 ・県西部圏域の交流人口を増やし地域活性化を図るため、剣山登山や集落めぐり、吉野川八合霧鑑賞など、にし阿波ならではの体験ができる着地型旅行商品や滞在プログラムの開発を促進します。  
 ・にし阿波～剣山・吉野川観光圏のアクセスルートの整備箇所数  
 ㊤5箇所→19箇所

- 意見3) ・商工団体が実施したプレミアム付き地域商品券「阿波とくしま・商品券」は、県・市町村が連携して支援し、県内の個人消費の拡大、事業活動の活性化、経済の好循環の一助を図っており、販売後、即、完売になったものもある。第2弾の発売をお願いしたい。

新計画対応)

- p70  
 ・プレミアム付き地域商品券 「阿波とくしま・商品券」発行 ㊤発行